



ウィトルウィウス建築書

森田慶一訳 請求記号 : 520/V83
資料ID : 09224792
配置場所 : BT-NOAH 05(08-4)

<野田建築学部長からのコメント>

古代ローマの技術者
ウィトルウィウスが著した
世界最古の建築技術に関する本の訳書。
建築とは、用・強・美の3要素を備えたもの。
この意味、分かりますか？
ちょっと眠くなる本ですが、
建築学部の学生であれば読むべき本です。



WEB書棚

自然は方程式で語る、力学読本

大島隆義著

請求記号 : 423/O77
資料ID : 00515519

<野田建築学部長からのコメント>

大学数学が多用されており、
少し難しいかもしれませんが
私自身は大変重宝しています。
全てを読破したわけではなく
必要な個所のみ参照しています。
そんな読み方もあります。



ウィトルウィウス建築書



陰翳礼讃

谷崎潤一郎 著 資料ID : 09036891
請求記号 : 000-中公文庫一た-30-27

< 垣田建築学部教授からのコメント >

日本の建築空間、また、それだけでなく食べ物や旅など、多岐にわたって美的なものの考察がなされている。味噌汁の椀についての記述などを讀むと、著者が病的なほど鋭敏な感覚の持ち主であり、それを洗練された言葉で表現していることが感じられる。エッセイなのでどこから読んでも良いし、最後まで読まなくても良い。こういった古典の文庫本はAmazonなどで極めて安い値段で出ているので、ぜひ購入して自分の本棚に置いてほしい。

パサージュ論 第3巻

ヴァルター・ベンヤミン 著 資料ID : 09296979
請求記号 : 000-岩波文庫(赤)-463-5

< 垣田建築学部教授からのコメント >

パサージュとはガラスと鉄骨でできたパリのアーケードのことである。19世紀にできたこの空間は「遊歩者」という、都市を自由に歩き回って楽しむ人々を生み出した。「街路はこの遊歩者を遙か遠くに消え去った時間へと連れていく。(M 遊歩者)」、「鏡を使って街路という戸外の空間をカフェに取り込む方法は、複数の空間を交差させるやり方の一つであり、それは遊歩者をとりこにせずにはおかぬ光景である。(R 鏡)」この本もエッセイなので、どこから読んでも良い。魅惑的な都市や空間、また、それを歴史や記憶に結びつける著者のイマジネーションの広がりを見つけて味わい、その表現法や言葉のセンスを自分のものとするための本である。

WEB書棚



ライブラリー